



Shinkoh News

——川口新郷工業団地協同組合——



「断崖の白い街」F100号

エーゲ海に浮かぶ サントリーニ島は一つの大きな火山であった。
その後、山が沈み、三日月形に残った頂上が「現在の白い石造りの街」であり手前の海は火口であった。
大自然の大きな営みに感動をおぼえる。～船上にて取材～

森 敬介（一水会会員 川口市在住（株）モリチュウ）



2015 JAN. vol.83

発行日 / 平成 27 年 1 月 22 日 発行 / 川口新郷工業団地協同組合 発行責任者 / 石川義明 編集責任者 / 矢野 剛



川口新郷工業団地協同組合
理事長 石川 義明

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また日頃より組合の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

川口市、埼玉県をはじめ関係各位に於かれましては、大所高所からのご指導、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本年も役員一同、皆様のご期待に応えるべく、着実な活動を心掛けて参ります。引き続き事業活動への積極的なご指導・ご参加をお願い申し上げます。

さて、わが国経済はアベノミクスの影響により景気好転の兆しが見えつつあります。新たに発足した第三次安倍内閣はこの軌道をより確かなものとするよう、経済優先でデフレ脱却など確かな成長戦略に大いに期待するところであります。

しかしそうした状況の中ではありますが、我々中小企業者にとっては依然として景気回復を実感できないのが実情ではないでしょうか。

消費税増税にともなう反動減の影響が未だに強く、円安による原材料価格の上昇に懸念を抱いている企業も多いと聞きます。そのため、政府には個人消費拡大策や所得増加策、法人向け減税、個人向け減税など、景気の腰折れを防ぐ対策を十分に行っていただきたいと思っております。同時に我々中小企業にも十分に配慮した予算の編成をしていただき、迅速に実行に移していただきたいと存じます。

それを受け、我々も官民一体となり、雇用を大切にしつつ、積極的に事業革新を行い、収益性の向上を図っていかねばなりません。

ところで一昨年、東京電力株式会社の電気料金が値上げされました。このことは多くの中小企業に甚大な影響を与えています。原子力発電所の停止、円安による発電燃料の高騰、再生可能エネルギーの急激な普及による負担金額の増加など、電気料金の更なる値上げや電力の安定供給が危惧されています。「電気」は生産の生命線。そうした実情を踏まえ、当工業団地では太陽光発電、水素による発電をも視野に入れた自家発電システムの導入などを継続的に検討しております。

年明けからの報道によれば、円安により大手企業の生産工場がアジア周辺諸国より自国へ回帰する傾向にあるとのことです。国内の生産人口の減少が危惧される中、急激な雇用の回復は人手不足や人件費の高騰を招きかねず、短期的には非常に厳しい経済情勢を強いられそうです。「人」の問題について、当工業団地では昨年度より従来の成都市に加え、新たに中国東北部の大連市より実習生の受入を開始しました。工業都市大連より優れた人材を安定的に受入れることで、組合員の皆様の人材の確保と事業の安定化に資すればと考えております。

また恒例となりました「ばんばん祭」も今年9回目を迎えます。近隣にお住まいの皆様と工業団地との住工共生の理念とその実行が評価され、昨年11月に当組合は「川口市地域貢献事業者」に認定されましたが、このことは私達の誇りでもあります。このお祭りは回を重ねるごとに参加者が増えており、今年も盛大に開催を予定しております。

今後も、新郷工業団地がこの地で「ものづくり」をしつかりと続けていくために、「電気」や「人」について共に考え、「住工共生の理念」を大切に、組合員、近隣の皆様と共に歩んでいきたいと思っております。

結びに、組合員企業各位の益々のご繁栄と、組合員の皆様、ご家族の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



衆議院議員
新藤 義孝

新年明けましておめでとうございます。石川理事長をはじめ新郷工業団地協同組合の皆さまには、長年にわたり大変お世話になっております。

昨年九月の内閣改造により交代するまで、一年八月にわたり川口からは五十六年振りとなる閣僚として総務大臣を務めさせていただきました。在任中に賜った激励・ご支援に心から感謝申し上げます。

大臣交代後は地方創生にかかる衆議院の特別委員会・与党筆頭理事や、自民党の統合実行本部・筆頭本部長代理を拝命し、国会側における地方創生の推進役として、大臣時代とはまた別の目の回るような忙しさの中で活動してまいりました。

昨年末に行われた衆議院総選挙では、皆さまのおかげ様をもちまして六期目の当選を果たすことが出来、心より御礼申し上げます。

「日本を取り戻す。」私達が目指すのは、経済成長と財政再建を両立させ、強い経済と優しい社会を実現させることです。

「アベノミクス」は、雇用の改善や賃金の上昇など、一定の成果を上げつつありますが、未だ歩みは始まったばかりです

特に景気回復の実感を全国各地にお届けするためには、それぞれの地域特性を活かした「地方創生」の強力な推進が欠かせません。

併せて、日本の新しい成長を創り出すためには、「ICT(情報通信技術)」を活用した技術やサービスの新しい組み合わせによる「イノベーション」を起こさなければなりません。

医療や教育、防災など我が国の社会的課題を解決する新たなシステムは、他国の課題解決にも活用できます。日本はこれらを「国際展開」することで、世界に貢献しつつ、自国の経済市場を拡大出来るのです。

「この道しかありません。」始めたばかりの安倍政権の諸政策をまっすぐ進めることが、「日本の元氣」を創りだし、「明日の希望」をもたらすと信じ、引き続きこの目標達成に向け、全力を傾注してまいり所存でございます。

川口新郷工業団地協同組合のますますの発展を期待するとともに関係皆さまのご健康とご活躍を祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



川口市長
奥ノ木 信夫

新年明けましておめでとうございます。川口新郷工業団地協同組合の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃より市政運営に對しまして格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、貴組合では、会員の皆様の強い連携と創意工夫の下、共同受配電事業をはじめとする共同事業や地域コミュニティの推進を目的とした「ばんばん祭」の開催など、他の参考となる取り組みを実施されていることに対し、心から敬意を表する次第であります。

さて、本市では、市内産業界の実情を把握するため、昨年11月13日に市内の各種産業団体や金融機関など16団体をお招きし、「市内産業団体代表者との意見交換会」を開催いたしました。出席された皆様からは、過度な円安の進行による原材料、燃料価格の上昇や電気料金の値上げによるコスト上昇分を価格に転嫁できないなど、経営環境に対する負担が大きくなっており、景気の回復が実感できていないとの声が聞かれ、改めて市内産業界の厳しい経営実態を認識したところであります。

こうした中小企業の皆様の声を真摯に受け止め、本市産業界を元気にするためにも、今年、本市の優れた産業技術・技能、また、これらの技術から生み出される素晴らしい製品を市内外に広く情報発信する「市産品フェア」を開催するなど、市内製造業の販路拡大への支援を積極的に進めてまいります。

現在、国では地方創生を掲げ、地域経済を支える中小企業・小規模企業事業者へのきめ細かい支援により地域が潤う好循環の実現に取り組んでいます。本市におきましても、これらの動向を的確に把握し、「ものづくりのまち 川口」の発展のため、産業の振興と市民生活に密着した施策を積極的に実施してまいりたいと存じますので、お力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、川口新郷工業団地協同組合の益々のご発展と、組合員の皆様のご健康ご繁栄を心から祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。



SIP 川口 2014 この一年



平成二十六年。四月の消費税引上げによる景気は穏やかに回復基調にあるが、個人消費の低迷による在庫調整と円安による原材料のコスト増、米国・中国等の海外経済成長鈍化や株価の下落局面が何回も訪れた波乱の年となった。しかし、安倍政権の消費増税の延期、堅調な企業収益環境・投資環境や雇用環境の改善などにより、今後の景気回復を期待したい。

また、二月の記録的な大雪や九月の御嶽山噴火など自然災害が多い中、ソチ五輪ではメダル獲得（長野大会に続き二番目）、世界文化遺産に「富岡製糸場と絹産業遺産群」、ユネスコ無形文化遺産に「和紙」が登録され、更に全米テニスで錦織選手の準優勝やノーベル物理学賞が赤崎・天野・中村三氏に贈られるなど明るい話題もあった。

SIP川口は、高騰する電気料金対策と、環境に配慮したクリーンなエネルギー供給対策並びに「ものづくり工業団地」を堅持するため、様々な課題の検討や住工共生を目的とした恒例の「ばんばん祭」を実施して参りました。

これは昨年の組合事業の記録です。

新春祝賀会 1月21日(火)

新春祝賀会（新工会館 91名参加）が盛大に開催されました。大西副理事長の開会挨拶、故岡村顧問の哀悼の黙祷、石川義明理事長年頭の挨拶、恒例の長寿のお祝い、永年勤続役員表彰、「日光御成道まつり」の親善大使の小林千鶴さん、渡邊理恵さんにプレゼンターの補助を務めていただき、花を添えました。来賓として新藤義孝総務大臣、橋本川口市副市長、奥ノ木信夫元県議会議長、板橋智之市議会議員のご祝辞をいただきました。

また、川口市長選への出馬を表明した奥ノ木信夫様に石川理事長、山口青年研究会長から推薦状をお渡ししました。

アトラクションとして、餅つき、工藤慎太郎ライブ、福引き等、楽しいひと時を過ごしました。



新電源調査

- ① 柏崎刈羽原子力発電所 2月21日(金) 22日(土)
- ② 汐留ビルディングの燃料電池施設 12月18日(木)

① 東日本大震災後の原子力発電所の安全対策状況、テレビ会議が行われる重要免震棟の内部や津波対策の外部設備を視察しました。

② 電気供給の多角化や災害に強い安心安全で、革新的な電力供給を目指して、新しいタイプの燃料電池の発電施設を視察しました。



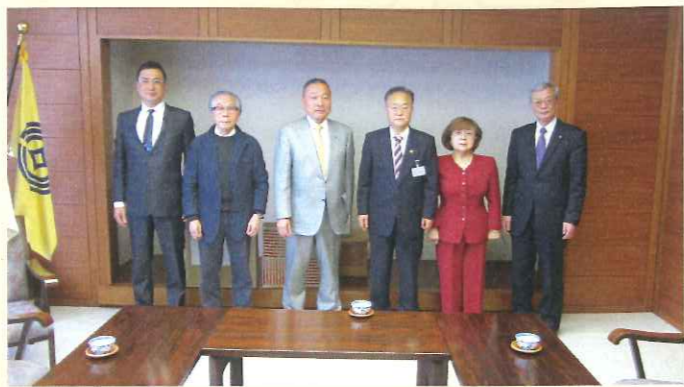
第30回記念ボウリング大会 2月28日(金)

30回記念ボウリング大会は、各プロック選抜、青年研究会、蕎麦の会が精鋭を送り込み開催されました。石川理事長の挨拶・始球式のと熱戦を繰り広げました。上位成績は次の通りです。



団体賞 (チーム名)		個人賞 (敬称略)	
優勝	モリチュウ	優勝	佐藤 勝志
準優勝	石金ドントコイ	準優勝	小室 一夫
三位	川口鍛工所	三位	野地美治男

奥ノ木川口市長へ表敬訪問 2月28日(金)



第13代川口市長に就任した奥ノ木信夫市長へ、石川理事長、大西副理事長、久保木専務理事、矢野総務委員長、森理事が表敬訪問しました。

市長は、市民生活の安定と中小企業の経営安定を重要課題として「みんなであつくる川口の元気」をスローガンに市政運営に取り組みたいと抱負を述べられました。

第45期通常総会 5月29日(木)



第45期通常総会 組合員74名(委任状39人)出席。平成25年度事業報告・決算報告及び平成26年度事業計画・予算計画が上程され、満場一致で可決されました。

(於新工会館2階ホール)



第八回ばんばん祭 8月24日(日)

近隣三町会、川口市観光物産協会、川口法人会第四支部及び(協)川口園芸販売 共催の第8回「ばんばん祭」は、地元川口の夏のお祭りとしてすっかり定着し、参加者約七千人と年々盛況になっています。

今年も宮城県南三陸町歌津地区の皆様も参加され、物産品の販売を行いました。千葉県銚子市からの出店、恒例の模擬店、各種ゲーム、踊りや地元歌手のコンサート等、住工共生の理念の下、大きな成果を上げました。



AED応急手当講習会 3月4日(火)



川口市消防局職員並びに新郷分署職員を講師としてお迎えし、90分のAED救命入門コースを実施しました。

応急手当の重要性と救命に必要な応急手当について受講者を5班に分け、心肺蘇生法とAED使用方法について学びました。

(受講者23名)

技能実習生帰国式 7月17日(木)



平成23年に四川省から技能実習生として受入れた3社12名が全課程を修了。

帰国会は、受入企業の社長立会いのもと、技能実習修了証並びに記念品が授与され、李忠君が実習生を代表し挨拶。全員で記念撮影し、翌日帰国の途に。

定期健康診断・胃検診実施 9月4日(木)
インフルエンザ予防接種 10月31日(金)



組合員並びに組合従業員の健康増進を図るため、戸田中央総合健康管理センターによる定期健康診断や胃検診等を新工会館にて実施しました。
 簡易健診50名、定期健診158名、有機溶剤20名、塵肺検診26名、胃検診53名の参加がありました。
 新工会館にて戸田中央総合健康管理センターによるインフルエンザ共同予防接種を実施しました。
 組合員並びに組合従業員合わせて212名が接種しました。

ハゼ釣り大会 9月28日(日)

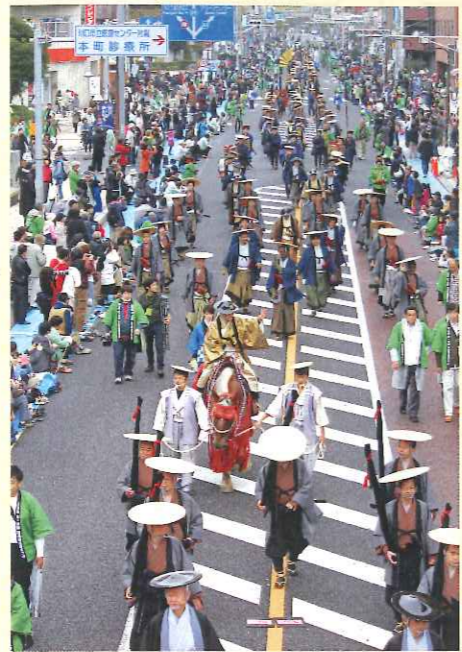


組合の福利厚生事業の一環として「ハゼ釣り大会」を実施しました。
 葛西臨海公園沖の釣り宿 江戸川乗船場で屋形船に乗り換え、東京湾の釣り場に向かい、釣り大会。エサのゴカイの処理に悪戦苦闘している人も、穏やかな日差しの中、全参加者 計104匹の釣果で、大騒ぎのなか、盛会の内に終了しました。(参加者42名)

大会成績 (敬称略)

優勝	筒井 怜	11匹
準優勝	石田結香	9匹
三位	石田 哲	7匹

川口宿鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり 11月9日(日)



300年の時を超える時代絵巻を現代によみがえらせるべく、装いも新たな第2回日光御成道まつり。組合から、社参行列に御小姓4名、警備に2名参加。15万人が歴史絵巻を堪能しました。

石川義明氏 中小企業庁長官表彰 11月25日(火)



中小企業等協同組合法施行65周年及び中小企業団体の組織に関する法律施行55周年記念式典において、当組合の石川理事長は、協同組合の発展に寄与し、功績が顕著な「組合関係功労者」として中小企業庁長官賞を受賞しました。

中小企業大学校東京校の専門研修
 9月26日(金) / 10月8日(水)
 10月9日(木) / 10月16日(木)

中小企業大学校東京校より、専門研修「連携組織化(組合支援の実務)」過程で、組合の運営全般に関わる知識と実践力を身につけ、支援能力の向上を図ることを目的に、当組合において現地実習が実施されました。
 石川理事長は、東京校において「工業団地の現状と支援の役割について」をテーマに2時間の講演、当組合の新工会館では、矢野総務、萩原電力、萩山事業、小林企画の各委員長と研修生との個別ヒアリングを実施。
 (株)明光社及び(株)川口鍛冶工所を視察。
 なお、最終日は三役・理事と研修生による実習成果の報告会が行われ、今後の組合運営に対する提案を受けました。



合同ブロック会議 11月25日(火)



工業団地内4ブロック合同の講演会は、(有)インスクエア代表取締役の宮嶋邦彦氏を講師として招き「労災と安全衛生」をテーマに講演を行いました。組合員・従業員の43名が聴講し、従業員が安心して働ける職場環境の改善の大切さについて改めて確認できた研修でした。

地域貢献事業者認定・モデル事業所認定 11月27日(木)

川口市産業功労表彰式において、地域社会への貢献活動を積極的に行う団体として、川口新郷工業団地協同組合は、地域貢献事業者として認定されました。
 また(株)大西鋳工所並びに(株)川口鍛冶工所は、高度熟練技能に基づく生産品を有し、市内産業界の技能水準の高さを広く知らしめている事業所として、川口市のモデル事業所として認定され、奥ノ木市長から表彰状と記念品の授与がありました。



秋季合同清掃 10月7日(火)



台風一過の秋晴れの下、組合員らが所属する各ブロックに分かれ、ゆうゆう歩道と工業団地内の街路樹帯や公園のボランティア清掃を実施しました。
 集めたごみ類は、川口市に収集していただき、工業団地内の環境美化が図られました。

中小企業団体全国大会 10月23日(木)



第66回全国大会は、東京日比谷公会堂において開催。キャッチフレーズは「団結は力見せよう組合の底力!」組合で進めよう!中小企業の持続的発展!」

- ① 実感ある景気回復と経済成長の実現
- ② 中小企業・小規模事業者の活性化税制の拡充

組合研修旅行 11月7日(金)~8日(土)

世界遺産に登録された富岡製糸場と絹遺産群等を視察。生糸の大量生産を可能にした技術革新で、絹産業界の発展に貢献した創業当時の器械のレプリカを使った実演や繭から糸を取る座繰りなどを見学し、製糸業の近代化をリードしてきたという歴史的・文化的背景に理解を深めました。
 また「日本の鉦都」とよばれた国内最大級の足尾銅山の坑内を見学し、銅山の歴史やしきみについて勉強しました。
 (参加者15人)



中国・大連視察(外国人研修生受入研究会) 12月4日(木)~6日(土)

中国から中小企業の産業振興の担い手であり、優れた技術や知識を習得させるため、昨年に引き続き重・軽工業が多い大連市の研修生派遣団体及び日本語学校を視察しました。
 また、派遣団体の大連奔騰国際経済技術合作有限公司において、技能実習生受入れによる、鑄造、鍛造、溶接関係の計50人の個人口頭面接、実技面接を行い、14人の候補者を決定しました。



おめでとうございます

☆長寿のお祝い

古希

◆株式会社栄興産業



関野 勝利様

喜寿

◆川口トラック協同組合



倉持 昌次様

◆中原建設株式会社



中原 浅次様

青年研究会会長挨拶



青年研究会会長
山口 基永

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆様方におかれましては、お元気で新

年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、青年研究会の活動に對しまして、組合員の皆様はじめ多くの方々の格別なるご高配を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、私たちを取り巻く経済状況はお世辞にも良いとは言えず、予想をはるかに超える急激な変化により、例年にならない程、先の見通しが難しく、益々厳しい時代になってきております。しかしこのような時こそ青研メンバーが力を合わせ、目前にある今出来る事を一つ一つ一生懸命に取り組むことが大切であると思っております。

昨年、青年研究会の活動は、冬期研修会等8事業に多くの会員に参加いただき、無事に遂行することができました。これもひとえに親組合の皆様のお力添えと深く感謝を申し上げます次第であります。

本年は、引き続き今後の組合運営の生命線といっても過言ではない、新電源導入のための調査研究のお手伝いに、より一層力を入れて取り組み、組合各企業の方々と共にSIP川口の更なる発展のために、微力ではありますが精一杯頑張る所存であります。

更に、組合の諸行事や他の団体交流に積極的に参加するとともに、次代のリーダーとしての知識・経営能力・指導力の向上をめざし、各種事業を通じて自己の研鑽に務め、会員一人一人の資質の向上と相互の親睦を図ってまいりたいと存じますので、本年もご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに皆様のご健康とご多幸をご祈念いたしましたして、新年の挨拶とさせていただきます。

萩原常務理事のご子息・寛佳氏ご結婚披露宴開かる

11月15日土曜日ホテルオークラ。(株)共和歯車製作所代表取締役・萩原伸宜氏の二男、萩原寛佳氏と、伊賀崎理沙さんの結婚披露宴が行われた。

昨今は新郎・新婦主体のジミ婚が多い中で、家と家、両家の披露宴として位置付けられたこの骨太の宴は、格調の高いものであった。

組合からは、石川理事長、大西副理事長、久保本専務理事、矢野常務、萩山常務、小林常務、石田理事の7人が招待された。晴れの日に列席した者としてこの報告をしたい。

ご来賓は、会社関係の方の他には、新藤代議士、奥ノ木市長、児玉鋳物組理事長、松井機械組理事長など川口の政財界のキーマンも並び、萩原家の益々の隆盛を見るように痛快。私の本音で言うと、新郎・新婦主体の披露宴の場合、両親の友人や会社関係者は、何か若者主体の場違いな空間にいるようで居心地が悪い。その点、ご子息の社会的な名を兼ねた「公式なthe披露宴」は、背筋がピンと張っていて気持ちのいいものだった。

新郎の寛佳氏は28歳の青年。萩原常務も背が高くかっこいいのだが、奥さまはさらに美人なので、ご子息はかなりのイケメン。そして新婦の理沙さん26歳も可愛らしい美人。なれそめを聞くと、新郎が芝浦工大卒

業後英国に留学し、新婦は同志社女子大学在学中に留学していた時に出逢ったという国際的な結婚。お二人も美しいのだが、お二人の出逢いの物語もまた美しい。

祝辞をした新藤代議士は、「留学して勉強もしていたのだからうけれど、生涯の伴侶まで見つけたらそれはチャッカリしている。そして新婦の理沙さんは、新郎のお母様に似ていますよ」と。言われたのでよく見ると、新婦の理沙さんは、自分のお母様にも、寛佳氏のお母様にもよく似た美人。寛佳氏は何と母親の伴侶を射止められたのだ。何ともこの辺もほほえましい。

披露宴の途中で、新郎がお色直しのため中座すると、新郎はじめ萩原家の4人の兄弟と兄嫁の5人が会場内を回って挨拶をしてくれた。仲の良い兄弟が揃ってお客様をおもてなしするこの光景、じつに微笑ましく、そして新鮮であった。

お料理もさすがオークラである。きちんとおいしく、サービスマも、会場も、すべて一流。久しぶりに完璧な披露宴に参列した気がした。

結婚式の最後に、新郎の父として萩原伸宜氏がお礼の言葉。「まだ原稿が出来ていなくてネ」と言っていたのだが、いやいやじつに立派。共和歯車、萩原家、3代目寛佳氏、すべてを鮮やかに披露し、一世一代の晴れの日を見事に締めくくった。

昨今の披露宴では、結婚式から始まって一日の映像をまとめて最後に上映する演出がある。それは映画のエンドロールのような映像で、全出席者の名前も入っている。これは新郎・新婦が主演し、列席者も共演した1本の映画を見るようにとても楽しい。それも良質な名画を観たような温かい余韻の中での御披露宴となった。

時計を見ると3時40分。開演は12時だったから4時間近い。

「そうそう、昔の大きなきちんとした披露宴はこのくらいズッシリと長かったよね」と思いながら、幸せのお裾分けをしていた。

(文・小林玖仁男)

